

町は今、中央公民館建設事業を進めている。

中央公民館が完成するまで、現場での力仕事や、重機の操縦を続ける職人たち。

天候状況が悪化しても関係なく仕事を続ける。真夏の暑さは容赦なくその身に降りかかる。

しかし、どんなに過酷な状況でも中央公民館建設工事を進める職人たち。その現場に広報おうらが入った。

の緩みは事故のもと。間違えば命を落としかま、人。とりわけ土木作業員の仕事は、き

までいるが、やはいから作業着は長袖長ズボンにヘルメットのフル装がら作業着は長袖長ズボンにヘルメットのフル装がら作業を続ける。作業の過酷さがひしたで10キロ近くあるという。作業の過酷さがひしたはり体にはこたえるのだろう。休憩のたびにはり体にはこたえるのだろう。休憩のたびにはり体にはこたえるのだろう。休憩のたびにはり体にはこたえるのだろう。休憩のたびにはり体にはこたえるのだろう。休憩のたびにはり体にはこたえるのだろう。休憩のたびにはり体にはこたえるのだろう。休憩のたびにはり体にはこたえるのだろう。休憩のたびにはり体にはこたえるのだろう。休憩のたびにはり体にはこたえるのだろう。休憩のたびにはり体にはこたえるのだろう。休憩のたびにはり体にはこれが必必には、単したがという。

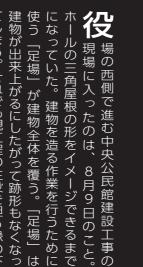
日、役場前の温度計は42度を表示していた。日、役場前の温度計は42度を表示していた。この中と汗の匂いが「ザ・現場職人」を感じさせ中と汗の匂いが「ザ・現場職人」を感じさせ中央公民館建設に賭ける「働くかっこよさ」がある。暑さに耐えながら、邑楽の夢づくりがある。暑さに耐えながら、邑楽の夢づくりがある。暑さに耐えながら、邑楽の夢づくりがある。暑さに耐えながら、邑楽の夢づくりがある。暑さに耐えながら、邑楽の夢づくりがある。暑さに耐えながら、邑楽の夢づくりがある。暑さに耐えながら、邑楽の夢づくりがある。暑さに耐えながら、田楽の夢づくりがある。暑さに耐えながら、田楽の夢が、田楽の夢が、田楽の夢が、田楽の夢が、田楽の夢が、田楽の夢が、田楽の夢が、田楽の夢が、田楽の夢が、田楽の夢が、田楽の声が、田楽の声が、田楽の夢が、田楽の夢が、田楽の夢が、田楽の夢が、田楽の夢が、田楽の夢が、日本の書は、田本の書が、田本の書

||---| い物でも軽々と持に、高い場所でも余裕で作業する少しないた成果がカタチに残らと、一仕事のやりがいは何と言っても、やった成果がカタチに残やった成果がカタチに残やった成果がカタチに残るという。 茶ととうという。 でもまうとやりがいを感くと思うとやりがいを感くと思うとやりがいを感がらいるという。 じるという

現場で働く仲間を事故から守るため」。 にも似た声。職人たちのそんな声の掛け合いは、安全確認の徹底を意味するのだろう。さらに現場代理人が続ける。「多い日で60人近は、安全確認の徹底を意味するのだろう。さらに現場代理人が続ける。「多い日で60人近は、安全確認の徹底を意味するのだろう。さんない」。 現場代理人が話す表情は真剣だ。

中央公民館の建設日誌





建築現場で作業をするとび職人、土地の位置や

形状を正確に測る測量士など、私たちが快適に

暮らせるための手助けをしてくれている。

建設職人と一口に言っても、仕事の内容は多岐 皆さんはどのようなイメージをお持ちだろうか。 建設業界で働く、

いわゆる「ガテン系」の職人に、

にわたる。例えば、建物の室内を仕上げる内装屋、